

## 丹後農業実践型学舎研修情報（7月）

（研修概要）

【6期生】

- ほ場の耕耘、肥料散布、かん水等を通じて各種機械の使用方法を習得した。
- 甘藷、カボチャ、キャベツ等各種野菜の栽培管理をした。
- 「土壌肥料2」「野菜の生育と品質1」を受講した。
- 農林センター施設公開デーに参加し、カボチャを販売した。
- ニンジン播種機実演会、キャベツ育苗講習会、カボチャ目合わせ会に参加した。



カボチャ 座布団敷き



太陽熱土壌消毒



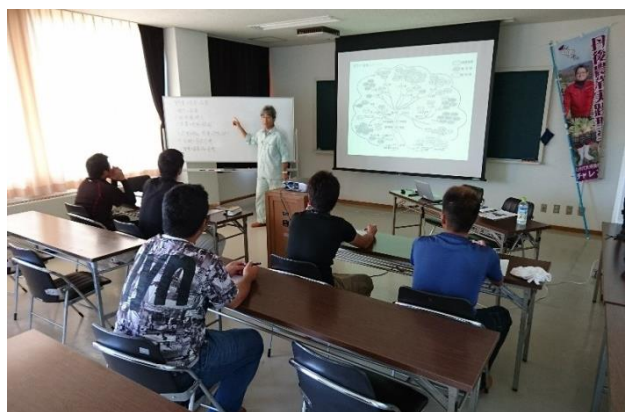
カボチャ 収穫作業



農林センター施設公開デー 販売



座学：土壌肥料2



座学：野菜の生育と品質1

## 研修を通じての学舎生の所感（抜粋）

カンショやカボチャの圃場の周りに電気柵を設置した。どれぐらいの衝撃がくるのか知っておくため手で触れてみた。冬の静電気ショックより少し大きいけど、工作で作るようなライデンビンにためたものに触れるよりは小さく感じた。ただ、獣が鼻先などの繊細な部分で触れたときには、とても驚き、学習して避けるようになるのだろうと感じた。

今週は雨が続き圃場での作業があまりできなかったが、自立した後にもこういった雨が続く時があると思うので、それを見越した栽培ができるように勉強していきたい。

夏本番になって雑草管理に作業時間がかかるようになってきた。自分一人で作業する場合は、天気予報を参考に作業開始時間、作業範囲等を計画的に実践し、体力の消耗を抑え、疲労が蓄積しないように管理していかなければならないと思う。

今週は透明マルチ張りの実習がほとんどで自立に際しての良い経験となった。特に効率よく作業を進めるための方法を画策し、それを6期生で話し合いながら実践に移せたことは良かった。

カボチャの座布団を敷いている時は、あまり実がついていないと感じたけど、収穫してみると、かなりの量になった。収穫量として多いかはわからないけど、カボチャを一人でやる場合は、収穫にかかる労力を考えると20aが限界になると思った。

初めての収穫作業を行った。収穫できたカボチャの数は少なかったけど自分たちで作った物がしっかりできて安堵した。

直売会においては、結果的にたくさん売れたけど、価格設定の知識不足、商品知識不足が目立った。これらの反省点を活かして、これからの直売会では良い結果を残していきたい。

農林センターの施設公開において、自分自身で育て収穫したカボチャを販売した初めての経験となった。

ジェジェJについては、収穫したてでまだ実食できておらず、自身が把握できていないものを販売する形となったため、消費者を前にして、十分に商品説明できなかったことが悔やまれる。「カボチャ」ではなく、「食べ物」を売るということが十分にできていなかったことは、自身の反省点として持っておきたい。

キャベツの播種を行った。種を1粒ずつおいたら、バーミキュライトを均一にかけていくだけであった。他の野菜ではあるけど、家庭菜園のために育苗していたときは培養土をかけ鎮圧・圧着させていた。いろいろな方法があると改めて感じた。